

おおたか　さよみ
大高 佐代美

動画はこちら

Q.「こども誰でも通園制度」の登録者状況は
A.７名で、実際の利用者は３名

【質問】こども誰でも通園制度の利用方法は。

【こども課長】１回の利用が２時間、月５回までの利用が可能である。

【質問】多くの方に利用してもらうために条件を見直すべきでは。

【こども課長】１回当りの時間が短いと聞いている。今後は、利用しやすいように検討を重ねる。

【質問】こども園での今後の取り組みは。

【こども課長】新たに、こども園に併設している子育て支援センターの充実を図る。具体的には、日向ぼっこと連携し、子育てサロンを実施し保護者の交流、相談の場と子どもたちの遊びを提供していく。



【質問】子育て支援は充実していると考えるが、少子化に歯止めがかからない現状をどう捉えているのか。

【保健福祉課長】子育てを取り巻く環境が変化し、経済的・人的な直接支援だけでは解決できないと考える。そのため、ライフステージに応じた切れ目のない支援と本町に住み、出産し、育てたいと感じられる環境作りのために、多面的な取り組みを実施していく必要がある。

【質問】学びの選択として、教育移住を考える方も増えている。町の考えは。

【教育長】教育移住という流れを的確に捉え推進していくには、子育て支援策、教育環境の特色、移住定住の施策が一体となる必要がある。

Q.町立病院の一部外来休診の回復は
A.現在、目途は立っていない

【質問】９月から、町内の開業医が町立病院で診察することになった経緯は。

【保健福祉課長】現在、医師不足が深刻な問題となっている。そのような中で、町内の医療機関の協力を得て、町立病院の医療充実を図るため、共同型診療（オープンシステム）を取り入れていくことになった。

【質問】温知会が運営を開始して20年経過する。この間に取り巻く環境や病院の経営状況は変化していると推察されるが、継続への現況は。

【保健福祉課長】医療資源の不足、人件費の上昇など病院事業の経営環境は厳しい現状であるが、持続的な地域医療を図っていくためにも欠かすことはできない。そのためにも次期協定を締結するにあたり協議を重ねている。



２０年目を迎える町立病院

一般質問



いがらし
五十嵐ミエ子

動画はこちら

Q. 町道の今後の整備計画は
A. 生活環境の改善のため、進めてまいりたい

【質問】町道で舗装されていない道路は。

【建設課長】町道路線数は３６８路線、延長すると23万２５７０・８メーター。そのうち、１２９路線、延長にすると４万６６０１・３メーター、全体の20％が舗装されていない。

【質問】猪苗代小学校から送迎バス停までの通学路の安全確保は。

【建設課長】老朽化した北側の側溝であるが、より安全に通学できるよう北側の側溝整備を行ってまいりたいと考えている。



拡幅されていない打越周辺

【質問】第二小学校の三城潟西舘線の町道は、打越から学校までの短い区間が整備されていないが都市計画整備は。

【建設課長】計画は、国道１５号線打越から第二小学校の前を通り旧１５号線、堅田五百苅線までの区間が都市計画道路で整備を予定している。

【質問】道路整備が途中までとなっているが、今後の対応は。

【建設課長】用地の地権者の了解をいただくことができず、現在も休止している。引き続き拡幅工事が実現できるように努めてまいりたい。

【質問】千貫区から川上区までの未舗装の整備は。

【建設課長】以前から舗装工事の陳情をいただいている。用地等の問題で事業が進んでいない状況。関係者との調整を模索しながら、引き続き早期実現に向けて取り組んでまいりたい。

Q. エアコンの未設置施設の現状は
A. 利用の要望等に基づき、設置している

【質問】避難所になっている公共施設におけるエアコンの設置状況は。

【総務課長】指定避難所となる24施設のうち、設置してある施設は19ヶ所である。そのうち避難所スペースに設置されている施設が一部設置も含めると16ヶ所となり、避難施設ベースでの設置率は67％となる。

【質問】未設置の施設の優先順位は。

【総務課長】現在のところ、設定していない。避難所として開設頻度の高い猪苗代町農村環境改善センターのホールは、利用者からの要望を受けて、令和８年度にエアコンが設置されている。

【質問】今後の未設置施設への整備計画は。

【総務課長】スポットクーラーや工業用扇風機などを所有しているため、それらの備品を活用し、新たに整備しながら、今後も避難所の環境の良好な整備に努めてまいりたい。



エアコンが設置された農村環境改善センター



わたなべ　しんいちろう
渡辺　真一郎

動画はこちら

Q. AIの進捗をどのように捉えているか
A. AIの活用で業務の効率化が可能



【質問】人工知能時代への移行は激動の時代となる。変動に対応することが最優先事項では。

【総務課長】ＡＩの活用が進めば定型的な業務の負担が大幅に軽減されると想定する。

【質問】国が独自に開発した生成人工知能「源内」を実証実験し、２年で全国の組織に広げる意向。担当者を置いて変化を捉える必要があるのでは。

【総務課長】国からの情報は無い。現時点での専任の職員配置は難しい。

【質問】業務内容が大きく変われば、採用や人事についても今から準備が必要では。

【総務課長】人員の配置やＡＩの導入の準備をする。

Q. 地方創生人材支援制度の活用は
A. 検討していない

【質問】町にとっては有益な制度では。

【総務課長】地域おこし協力隊等他の制度と併せて検討する。

【質問】制度を利用した市町村の事例の情報は。

【総務課長】県内外の事例を調べ新たな事業の企画推進に有効と認識している。

【質問】技術系の職員の不足はないか。

【総務課長】業務に支障ない人員を確保している。

Q. 二瓶町政3年間の総括は
A. 未来を担う人材育成を最重視

【質問】もっとも努力した内容は。

【町長】学校の設備、環境の整備や猪苗代高校の存続対応、ラムサール条約の登録実現である。

【質問】うまくいかなかった点は。

【町長】箕輪スキー場の問題である。

【質問】ほかのスキー場も含めて設備に問題があるのでは。

【町長】民間の努力により連携しながら進行を図る。ゴンドラの建設は時期確定の段階ではない。

【質問】ガーナとの友好は財源を豊かにした後、進めるべきでは。

【町長】経済効果だけで友好都市を結ぶものではない。



猪苗代スキー場



ごとう　きみお
後藤　公男

動画はこちら

Q. 幼児、児童の交通事故防止対策は
A. 親子で交通安全教室を実施

【質問】こども園児の出欠の確認はどのように行われるのか。

【こども課長】保護者がアプリで連絡する。通園バス利用の場合は乗務員が名簿でチェックし、バス担当保育教諭に引き渡す。教諭が確認し、保護者のスマートフォンなどに登園の確認を通知する。

【質問】小中学生に対しての交通安全指導は。

【教育総務課長】警察署に依頼して実施する。

【質問】4月から自転車の青切符制度が施行されたが、具体的にどのように指導しているのか。

【教育総務課長】警察署員が講師となり、4月に小学1、2年生には学校周辺の道路での歩き方、横断の仕方を指導し、3から6年生、中学生には自転車のマナーを含めて交通安全全般の指導をしている。

【質問】部活動などの交通手段は。

【教育総務課長】原則として町のバスを利用している。

【質問】今年5月磐越自動車道で起きた部活動遠征中の事故で文科省、国交省から安全確保の通知があったが町ではどのような安全対策を取っているのか。

【教育総務課長】中体連などの大会は原則として町のバスを利用し、乗り切れない場合は、緑ナンバーの貸し切りバスを利用する。休日の練習試合等は各保護者で対応している。



こども園の交通安全のぼり旗

Q. ふくしまDCのメニューは
A. 桜周遊バスや町中ウォールアートなど

【質問】DC（デスティネーションキャンペーン）はJRグループと町が連携した大型観光キャンペーンだが、費用対効果はどの程度あったのか。

【商工観光課長】DCキャンペーン実行委員会負担金として43・8万円、猪苗代観光協会に業務委託として168万円を支出し、他に新聞広告、PRサービス品作成、ネット広告の経費がある。成果として4から6月の3ヶ月で7から8万人の集客があった。

【質問】猪苗代駅前の整備は。

【企画財務課長】ISホールディングスと連携していく。

【質問】猪苗代駅は町の玄関口で観光客も多く、障害者や高齢者に優しく子育てしやすい町として駅のバリアフリー化、エレベーターの設置が望まれるが、今後の取り組みは。

【企画財務課長】駅のバリアフリー化は住民の生活や誘客に重要である。町の第8次振興計画に盛り込めるよう検討する。



エレベーター設置が望まれる猪苗代駅



たきた　かつあき
瀧田　勝昭

動画はこちら

Q. 猪苗代駅の利用状況は
A. 1日の乗降数は約650名（定期券除）

【質問】猪苗代駅付近の状況を町はどう捉えているのか。

【企画財務課長】現在、空き家やシャッターが閉まっているお店なども多く、市街地として空洞化が進み、商店の休廃業による商店街のにぎわいの低下が目立ってきている。観光のまち猪苗代の玄関口としては、若干寂しいと思っており、危機感を感じている。



昭和40年代の駅前の風景

【質問】JR東日本と猪苗代町との直接対話は。

【町長】駅前の整備は長い時間がたっても一向に進まない問題だ。JRの責任ある立場の人には面会できなかった。今年からJR福島事業本部長が郡山駅長になり直接対話ができ、土砂崩れの件も磐梯町、北塩原村と要望した。町所有地の有効活用、駅舎にエレベーター設置で利便性が図れる。とにかく、関係機関にはこれからはこれまで以上に何度も何度も足を運んで、実現できるように頑張りたい。

Q. 観光支援事業は
A. 地域活性化起業人を3名委嘱

【質問】人が集まる場所の人、物、金の支援は。

【町長】実行委員会の要請により職員の派遣、町備品の貸出を行っている。ただ、各商店飲食店の皆さんが機会を捉えて、少しでも儲かるかを、一緒に考えていただく機会が足りない。町は丁寧に説明をして、人の流れができるから、商売に生かしてくださいと、結果、町全体もにぎやかになるし、盛り上がるのかなと思っている。実行委員会なりに、周知し、協力を呼び掛けたいと思う。

【質問】観光協会がDMOを取得したことで、観光産業のリーダーシップを取れるのか。自主財源は。

【商工観光課長】観光協会は会費のほか、町からの委託費の手数料、公益補助金と誘客補助金を観光課所管で支出をしている。公益は、観光案内に対応する職員の人件費で、誘客事業は、DCも含めた観光誘客の補助金である。補助金が大きくなっている。



ながとも　ひろむ
長友　海夢

Q. 猪苗代花火大会の来場者数は
A. 開始当初から１万人程度で推移

動画はこちら

【質問】花火大会の総事業費、財源構成は。

【商工観光課長】令和７年度の総事業費は１６１８万３千円。財源は町補助金74％、協賛金21％、その他５％。平成23年度に比べ、町補助金は６００万円から１２００万円に倍増。協賛金は７３２万８千円から３４２万円に減少。

【質問】協賛金確保に向けた働きかけは。

【商工観光課長】協賛募集の発信や事業者への働きかけ不足を課題と認識し、募集の在り方は幹事会・実行委員会で検討いただきたい。

【質問】協賛額に応じた特典の充実は。

【商工観光課長】協賛の魅力を高める仕組みが重要と認識している。特別観覧席に加え、協賛額に応じた特典を実行委員会で検討したい。

【質問】花火大会を町内の周遊や消費につなげる施策は。

【商工観光課長】大会前後の周遊や滞在を促す仕組みが重要と認識している。町内の消費拡大と地域経済の活性化に向け、実行委員会等と連携して取り組む。



いなわしろ花火大会２０２６

Q. 地域みらい留学生の目標入学者数は
A. 10～15名程度

【質問】卒業後も猪苗代町とのつながりを継続する施策は。

【教育総務課長】探究活動を通じ町の魅力を感じてもらい、卒業後の町内就職や将来的なUターンにつなげたい。地域プロジェクトマネジャーを配置し、コーディネートを行っている。

【質問】地域プロジェクトマネジャーの業務内容は。

【教育総務課長】留学生の生活支援や継続的な留学生の確保、卒業後の町内定住・就職支援、人材育成などを担っている。

Q. 空き町営住宅のお試し住宅への活用は
A. 町設住宅での整備を検討

【質問】移住の手順を示す手引書の整備は。

【商工観光課長】既存のパンフレットで概ね対応しているが、手続の流れをより分かりやすく示す工夫を検討したい。

【質問】仕事と暮らしを一体的に体験できる移住支援は。

【商工観光課長】県事業や先進事例の情報を収集し、連携の可能性を検討したい。



やまうち　こうじ
山内　浩二

動画はこちら

Q. 子ども屋内遊び場整備は
A. 既存の施設を検討する

【質問】屋内遊び場の重要性は。

【保健福祉課長】天候に左右されず子供が安心して遊ぶ事ができる場で、保護者同士の交流や情報交換としても重要な役割を果たす場である。

【質問】遊び場の役割は。

【保健福祉課長】子育て負担感や孤立感の軽減、さらに健全な育成、成長を地域全体で支える環境づくりである。

【質問】県の専門機関からの情報収集は。

【保健福祉課長】現在新たな施設整備の予定がない為、情報収集は行っていない。



現在の猪苗代町児童館

【質問】町外屋内遊び場利用補助金交付の検討は。

【保健福祉課長】新たに創設する検討はしていない。

【質問】町所有施設で遊べる屋内整備を要望しますがお考えは。

【町長】子育て世代のニーズを把握しながら、既存の施設や地域の遊び場をうまく活用し子供達が安心して過ごせる環境づくりを目指したいと考えている。

Q. 公有財産の状況は
A. 減らす方向で対応する

【質問】旧会津バス寄宿舎事務所と除雪機械格納庫を取得して何年か。

【企画財務課長】平成25年に売買契約を締結し、12年経過している。

【質問】現在までの維持管理費用は。

【企画財務課長】土地を取得費用と廃材撤去工事、倉庫解体工事建物火災保険等を含めて累計で約３４０万円の維持費となっている。

【質問】取得後の利用計画は。

【企画財務課長】駅前再整備検討委員会を設置、更に再整備基本計画、公共施設等総合管理計画、個別施設計画と取り組んできた。

【質問】今後の計画対応は。

【企画財務課長】解体をしていく方向性で計画をしている。また、猪苗代駅前再整備検討会を開催し計画の見直しをして今後進めていく。



旧会津バス寄宿舎の現況

Q. 企業誘致の活動は
A. 現在、結果は見えない

【質問】現在の活動体制は。

【商工観光課長】現在１名体制。関係機関との連携を図り、情報発信と誘致活動を展開している。

【質問】誘致計画は。

【商工観光課長】過疎地域持続的発展計画で取り組む。

【質問】土地建物情報案内は。

【商工観光課長】町企業立地パンフレットで案内をしているが、今後内容見直し検討を行い発信する。

【質問】経過報告打ち合わせは。

【商工観光課長】企業関係機関との協議、打ち合わせを行って進めている。